

平成28年度  
畜産現場における障がい者の参画推進支援事業

# 畜産現場における 障がい者の参画推進 のための手引



平成29年3月

畜産経営支援協議会



# まえがき

本書は、畜産経営支援協議会(事務局:公益社団法人中央畜産会)が、平成27年度より実施している「畜産現場における障がい者の参画推進支援事業」による調査結果を踏まえて整理されています。本事業は、畜産の現場への障がい者の就労を支援することを目的として、日本中央競馬会畜産振興事業の助成を得て実施しています。3ヶ年事業の2年目にあたる平成28年度の調査成果の一つである本書は、畜産現場において障がい者雇用を始めることを検討している畜産農家などの経営体を対象に、障がい者雇用に円滑に取り組むための情報を提供することを目的として作成したものです。

畜産業に新規に参入する若手農業者や畜産農家の後継者、あるいは畜産以外の産業から転職して、障がい者雇用に取り組みながら、畜産に取り組む人にも利用いただけるよう、家畜飼養経験の長い農家の方や畜産経営についての経験がある方には、不要な情報も含まれています。熟知されている内容の記述箇所は読み飛ばしても要点が理解できるように、本書は構成されています。

本書の内容は、障がい者と一緒に仕事をしたり、習熟した仕事を障がい者らに任せたりすることが、日常的な経営として定着することを念頭に置き、障がい者雇用を予定する場合の、①障がい者の担う作業の種類や具体的な切り出し方、②障がい者を受け入れる際の就労形態、③畜産現場への定着に向けた障がい者の人材探しや支援方法、の順に一連の流れとして3章構成で解説しています。

酪農、肉用牛飼育、養豚、肉用ならびに採卵鶏等を飼養する畜産農家等が、障がい者の雇用や就労を検討される場合や関心を持たれる場合に少しでも役立つことを願っています。

なお本書のほかに、「畜産現場における障がい者の参画事例集」を作成しています。すでに畜産現場で取り組まれている障がい者雇用や就労実態につきましても、併せて参考にさせていただければ幸いです。

本書の作成にあたり、お忙しい中、調査にご協力いただきました農業法人や畜産農家の方々、特別支援学校、社会福祉施設、障害者就労支援組織など地域の支援者の方々、そして調査や推進委員会におきましてご協力とご指導をいただきました委員各位、ならびに県畜産協会、日本中央競馬会をはじめとする関係各位に御礼を申し上げます。

平成29年3月

畜産経営支援協議会



畜産経営支援協議会は、一般社団法人中央酪農会議、公益社団法人中央畜産会等を構成員として、畜産関係団体が連携し畜産経営の改善と地域の活性化を支援することを目的に設立された組織です。



# 目次

## まえがき

### 1章

#### どのように作業が進むのか ～畜産の現場で取り組む作業～

1-1	畜産現場での作業の種類	2
1-2	作業の細分化	8
1-3	作業の支援	13
1-4	健康管理と安全対策	16

### 2章

#### どのような働き方をするのか ～経営者からみた関わり方～

2-1	就労の形態	24
2-2	畜産経営体で直接雇用する	27
2-3	福祉事業所等に作業委託する	31
2-4	体験や交流の機会を提供する	33

### 3章

#### どのように支援し定着させるか ～地域／社会での定着支援～

3-1	人材を探す	36
3-2	障がい者就労を支援する	37
3-3	生活面のサポート ～交通や住居について～	38
3-4	障がい者就労の実現に向けて	39

レファレンスコーナー	40
------------	----